

各種報告 <兵庫医療大学>

■ 平成27年度 兵庫医療大学 卒業生進路実績

◆ 概要

		薬学部		看護学部		リハビリテーション学部			
		医療薬学科		看護学科		理学療法学科	作業療法学科		
平成28年4月1日現在		27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度
卒業者数		138名	135名	99名	99名	41名	46名	47名	43名
内 訳	就職者数	66名	74名	97名	97名	39名※	45名※	45名	40名
	進学者数	0名	1名	0名	0名	1名※	2名※	0名	0名
	その他	72名	60名	2名	2名	2名	1名	2名	3名

※就職し、且つ大学院にも進学した者をそれぞれに計上

◆ 進路一覧

【薬学部 医療薬学科】

病院薬剤師

兵庫医科大学病院
京都大学医学部附属病院(レジデント)
医誠会病院
姫路赤十字病院
高石藤井病院
西東京中央総合病院
鹿児島県立大島病院
京都九条病院
山本第三病院
ツカザキ病院
共和病院
相原第二病院
楠本病院

保険薬局・ドラッグストア

株式会社アインファーマシーズ
クラフト株式会社
株式会社クオール
株式会社ファーマホールディング
総合メディカル株式会社
株式会社ウィーズ
株式会社サエラ
株式会社ブチファーマシスト
株式会社ニチホス
株式会社アルカ
アメニティプランニング
株式会社大新堂
株式会社祥漢堂
有限会社サカイファーマシー宮前薬局
イオンリテール株式会社
ウエルシア薬局株式会社
株式会社サンドラッグ
株式会社スギ薬局
株式会社マツモトキヨシ
株式会社ココカラファインヘルスケア
株式会社コクミン
株式会社キリン堂
株式会社アカカベ
株式会社クリエイトエスディー
株式会社OFSコーポレーション
株式会社ザグザグ

企業・その他

ノボルディスクファーマ株式会社
鳥居薬品株式会社
株式会社三和化学研究所
サイトサポート・インスティテュート株式会社
バレクセル・インターナショナル株式会社

【看護学部 看護学科】

看護師・助産師

兵庫医科大学病院
兵庫医科大学 ささやま医療センター

神戸大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院
大阪市立大学医学部附属病院
京都府立医科大学附属病院
奈良県立医科大学附属病院
豊岡病院
箕面市立病院
兵庫県立尼崎総合医療センター
兵庫県立こども病院
兵庫県立がんセンター
兵庫県立光風病院
神戸市民病院機構 中央市民病院
地方独立行政法人加古川市民病院機構
加古川西市民病院
明石市立市民病院
大阪府立母子保健総合医療センター
堺市立総合医療センター
岡山市立市民病院
三菱神戸病院
住友病院
神戸アドベンチスト病院
近畿中央病院
高槻病院
製鉄記念広畑病院
済生会吹田病院
大阪府済生会千里病院
国立国際医療研究センター センター病院
赤穂市(保健師)
鳥取シティバレエ

【リハビリテーション学部 理学療法学科】

兵庫医科大学病院
兵庫医科大学 ささやま医療センター
奈良県立医科大学附属病院
箕面市立病院
社会医療法人渡邊高記記念会
協和マリナホスビタル
神戸掖済会病院
神戸平成病院
明和病院
医療法人尚和会
愛仁会 千船病院
大阪府済生会中津病院
神明病院
吉田病院附属脳血管研究所
石川病院
宝塚リハビリテーション病院
姫路聖マリア病院
第二協立病院
淀川キリスト教病院
Nクリニック
行岡病院
社会医療法人愛仁会 高槻病院
東大阪病院
阪和記念病院
宇治武田病院

洛和会丸太町病院
岡山赤十字病院
倉敷中央病院
三豊総合病院
みどりクリニック
沖縄医療生活協同組合
サンシティパレス塚口

兵庫医療大学大学院(進学)

【リハビリテーション学部 作業療法学科】

兵庫医科大学 ささやま医療センター
兵庫県 公立病院
宝塚三田病院
IH播磨病院
西宮協立リハビリテーション病院
尼崎中央病院
はくほう会セントラル病院
六甲アイランド甲南病院
有馬温泉病院
愛仁会 千船病院
荻原みさき病院
第二協立病院
本山リハビリテーション病院
広畑センチュリー病院
神戸赤十字病院
通寿リハビリテーション病院
神戸マリナース厚生会病院
神戸協同病院
栄宏会小野病院
西記念ポートアイランドリハビリテーション病院
順心リハビリテーション病院
西江井島病院
石川病院
済生会泉尾病院
関西電力病院
東生駒病院
行岡病院
愛仁会リハビリテーション病院
美原病院
丹比荘病院
社会医療法人美杉会
武田病院
国立病院機構 宇多野病院
洛和会音羽リハビリテーション病院
倉敷平成病院
西広島リハビリテーション病院
特定医療法人中央会 ローランド
社会福祉法人明倫福祉会 愛しや
波の家福祉会
川西市立児童発達支援センター 川西さくら園さくらんぼ
株式会社スバコ・ケア・エンジニアリング
こども発達センターあおむし

■ 平成27年度 兵庫医療大学 国家試験結果

第101回 薬剤師国家試験

(試験日:平成28年2月27日・28日、合格発表:平成28年3月28日)

区分	6年制新卒			6年制既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	102	44	43.1%	119	85	71.4%
【参考】本学昨年度	96	60	62.5%	125	70	56%
全 国	8,242	7,108	86.2%	6,185	4,201	67.9%

第102回 保健師国家試験

(試験日:平成28年2月16日、合格発表:平成28年3月25日)

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	36	36	100.0%	1	1	100.0%
【参考】本学昨年度	98	98	100.0%	2	2	100.0%
全 国	8,295	7,684	92.6%	504	217	43.0%

第51回 理学療法士国家試験

(試験日:平成28年2月28日、合格発表:平成28年3月29日)

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	41	40	97.5%	1	1	100.0%
【参考】本学昨年度	46	45	97.8%			
全 国	10,562	8,662	82.0%	1,953	610	31.2%

■ 平成28年度 兵庫医療大学 入学試験結果

学部学科	薬学部 医療薬学科										看護学部 看護学科					リハビリテーション学部								
																理学療法学科				作業療法学科				
定員	150名										100名					40名				40名				
入試種別	推薦				一般						推薦		一般			推薦	一般			推薦	一般			
	専願	指定校	公募 A	公募 B	前期 A	前期 B	前期 C	センター (前期)	後期	センター (後期)	専願	公募 A	前期	センター (前期)	後期	センター (後期)	専願	前期 A	前期 B	センター (前期)	専願	前期 A	前期 B	センター (前期)
募集人員	20名	10名	15名	10名	35名	25名	15名	7名	10名	3名	25名	10名	50名	5名	7名	3名	10名	20名	8名	2名	13名	17名	8名	2名
志願者	96名	5名	282名	141名	383名	237名	161名	29名	159名	2名	173名	315名	430名	59名	73名	10名	93名	181名	143名	35名	48名	58名	54名	16名
受験者	96名	5名	279名	138名	380名	235名	155名	28名	155名	2名	172名	314名	425名	59名	70名	10名	93名	180名	143名	34名	48名	57名	54名	16名
合格者数	28名	5名	77名	29名	117名	70名	26名	7名	32名	1名	26名	42名	126名	13名	8名	3名	13名	43名	25名	9名	13名	29名	25名	5名
入学者数	27名	5名	18名	22名	29名	21名	15名	0名	15名	1名	26名	22名	59名	2名	6名	1名	13名	21名	13名	1名	13名	18名	10名	1名
入学者数計	153名										116名					48名				42名				

今春開学10年目を迎え、2017年の開学10周年を控える兵庫医療大学が、記念ロゴを作成しました。

大学カラーである赤と青を基調とし、チーム医療の十字マークと、さらなる未来への躍進を"プラス"に例え、10の右上に置いたデザインです。
今後、広報活動において広く使用していきます。



卒業生の今

～第一線で活躍する卒業生～

小学一年生から 夢見続けてきた舞台で

SOUKO FUJII

ふじい そうこ
藤井 聡子さん

- 出身学部 兵庫医療大学 看護学部
- 卒業年 平成25年3月卒業
- 勤務先 兵庫県立こども病院 看護師

幼少期からの夢を抱き続け 念願の「こども病院 看護師」に

医療従事者になることを夢見る子どもは少なくはないが、藤井氏は小学一年生からの夢を現実にした。その夢とは「こども病院の看護師」だ。

きっかけは、県立こども病院で勤務している知り合いの看護師から、看護師の仕事についての話を聞き、興味を持ったこと。重篤な子どもの患者さんのために、何とか役に立ちたいという思いは強く、幼少期から今まで消えることがなかった。「このこども病院を最後の砦だと思ってお子さんを連れてくるご家族の方や、病院に絶大の信頼を置いて来る方が多いのだと実感し、一層ここで勤務したいと思う気持ちが強まりました」。

三年前、念願が叶い、同病院での勤務を開始。今や、幼少時の憧れで、看護師をめざすきっかけになった看護師の先輩と同じ病院で働いている。



小さな子どもの患者さんを チームでサポートする日々

県立こども病院は、兵庫県下で小児循環器疾患の専門医療を行っている中枢病院であるため、藤井氏が勤務する循環器病棟は重要な部署だ。新生児期の重症心疾患をはじめとする先天性心疾患の患者さんも多く入院している。下は新生児、上は中高生などの患者さんを対象に、看護を行う毎日だ。

業務内容は、輸液管理や痰の吸引、清潔ケアなど、患者さんの身の回りのお世話や治療のサポートがメイン。そのほか、摂食・嚥下障害看護の認定看護師(CNS)や言語聴覚士(ST)と連携し、どのようにしたら経管栄養から経口摂取へ移行できるかを、チーム内で提案したり相談したりする。また、生まれた時からずっと入院している子どもが退院する際には、地域連携部と協力して、スムーズに日常生活が送れるようサポートすることもある。このように、医師だけでなく他の職種との協働場面が多々あるようだが、大学時代に受講した授業で、チーム医療の重要性を説かれたことなどを思い出すこともあるらしい。

元々循環器病棟を志望していたわけではないが、小さな子どもが治療を受けて頑張っている姿を見るととても愛おしくて、この病棟で良かったと感じるそうだ。「お子さんにとって大事な愛着形成の時期に、成長のお手伝いをできるのはうれしいです」。

また、仕事のやりがいを感じるのは、患者さんの変化を感じ取った時とこと。たとえば、退院したお子さんが外来で元気な顔を見せてくれた時や、体が小さかった子が大きく成長した時、自分でミルクを飲めなかった子が飲めるようになった時などだそう。「自分に関わったことで快方に向かうと喜びもひとしおです」。



リーダーとしての自覚が芽生え 次のステップへ

現在、藤井氏は病棟でリーダーとして勤務することもあり、後輩看護師の教育や、病棟で統一した看護ができるよう気を配っている。リーダーになったことで、他のスタッフの動きに一層気を配るようになり、周りの状況を見ただけで自分が行動できるようになったのは、大きな成長点だ。

「体力的にしんどいと感じることは実際にあるけれど、同僚や先輩が温かくて親切なので、すごく働きやすいです。教育システムもしっかりしており、一人ひとりのことをしっかり見て、強みや弱点もはっきり言ってくれるから、まだまだ成長できますね」。

普段から心がけていることは「患者さんやご家族の心に寄り添った看護」。特に、ご家族と意図的にコミュニケーションを取り、本当にご家族が必要としている支援をできるように留意している。「循環器についての理解をもっと深めたうえで、入院中だけでなく、その子の成長・発達も見据えられる看護師になりたい」。藤井氏の更なる飛躍に期待したい。



臨床研究を支える疫学統計の専門家

～日本の臨床疫学におけるフロントランナー～

兵庫医科大学 臨床疫学 教授
臨床研究支援センター (CCRED)
副センター長

森本 剛

平成26年12月、兵庫医科大学に臨床医学系の学科目として新しく設置されたのが臨床疫学講座。臨床疫学とは、実際の医療をより良いものにするために、患者さんの診断や治療などについてさまざまなデータを取り解析する学問だが、臨床研究を支えるその分野の専門家は、日本ではまだまだ少ないのが現状だ。

臨床疫学は「デザイン」

臨床疫学は、統計の学問と思われることが多い。しかし森本教授は「統計はごく一部。患者さんとのように接しどのように研究したら良いかを考え、研究全体をデザインするのが臨床疫学です」と話す。データの処理だけでなく、臨床医が研究しやすい環境を作り、手助けをすることも仕事の一つだという。「登山のシェルパ(案内人)みたいな仕事です。登山者に、登り方やルートを教えてあげたり、ときどき荷物を持ってあげたり、時には道がないところに橋をかけてあげたりね」。

森本教授は、日本の臨床研究はまだ海外の水準には達していないという。「究極のゴールは、日本の臨床の現場で行われた研究が、普通に国際標準的なデータとして扱われるようになることです」。そのために、臨床疫学・統計のエキスパートとして、臨床医の研究支援や若手医師への教育などで、全国を飛び回っている。



総合診療医の経験を生かして

森本教授は長年、総合診療医として診療に従事している。その広い見識は、臨床疫学の専門家としても大きな強みになっている。現在の日本では、森本教授のようにすべての診療科のすべての病気を視野に入れて考えることができ、また臨床的な判断や医療現場のことにも通じていながら、研究の企画や準備、データの解析ができるという人材はほとんどいないのが現状だ。

森本教授に「臨床疫学で最も大切なことは何か」と問うと、「バランス」という答えが返ってきた。「臨床的であることと科学的であることは、常にトレード・オフなんです」。トレード・オフとは、一方を達成しようとするれば、もう一方を犠牲にせざるを得ないということ。「良い研究をしよう」とすると、臨床現場の負担になる。臨床現場を優先すると、疫学・統計学的なロジックは下がる。実際の医療に生かせる研究にするために、そのバランスを取ることが大切なんです」と話す。総合診療医で、かつ統計家である森本教授だからこそ、なせるのだろう。

何が求められるのかという発想

高校生の時から、研究をする医師になりたいと思っていた。「心臓血管外科に憧れていたけど、大学に入った

ら、もうそんなことはすっかり忘れてましたね(笑)」。京都大学の総合診療部の第一期生。京大で働き出してから、米国・ハーバード大学に留学。また、慶應義塾大学のビジネス・スクールにも通った。「この仕事には、ビジネスのセンスも大事。ビジネスって、相手が何を求めているかがスタートなんです。僕は、現場の医師や患者、企業などが何を求めているかというところから考える。そうしないと、研究というのはうまくいかないんです」。



森本教授が並行して進めているのが「医療の質の測定」だ。現代の医療では、薬の副作用や手術後の合併症など避けることができない事象や、入院中の転倒など医療の側が意図しない予想外のことがしばしば起こる。このような事象について、どのような人に起こるのか、どうすれば防げるのか、臨床疫学を通じてアプローチし、数々の研究成果を発表している。国内でこのテーマを扱っている研究者はまだ少ない。「一人でもとことん追求していきます」。日本の医療をより良いものにするために、想いは尽きない。

気になる授業

兵庫医科大学・兵庫医療大学の魅力たっぷりの授業をご紹介します！

兵庫医科大学

「エスコート実習」

兵庫医科大学では、1年次より早期臨床体験実習Ⅰ、医療コミュニケーションなどコミュニケーション能力向上と医学への関心を高める努力をしています。低学年から患者さんと実際に接することが重要と考えています。

この実習は2年次生が兵庫医科大学病院初診の患者さんをマンツーマンで担当し、会計が終わって病院を出られるまで付き添わせていただく(エスコートする)実習です。目的は患者さんに初めて一人で接することにより、コミュニケーションの大切さを学ぶこと、そして病院での外来患者の実際を体験することです。挨拶や自己紹介はもちろん、患者さんのお話を傾聴し、適切な相槌をうち、会話をすることが必要です。2年次生はまだ医学的知識はありませんが、病院各部の場所を覚え、うまく

コミュニケーションしようと一生懸命です。

患者さんが大学病院を受診するということは、重篤な病気や手術が必要な場合も少なくありません。受診前の患者さんの不安を理解すること、担当した医師の言葉や対応に敏感に反応する患者さんの心情に接するなど得られるものは大変貴重です。待ち時間の長さを痛感する場合があります。患者さんからも評価を頂きフィードバックしていますが、高評価で誉めていただくことが多く、学生にとっても大きな励みになっています。大学病院初診の患者実習は1月から2月ですが、実習中の青い腕章を巻いた白衣姿を外来で見かけられましたら、声をかけてください。



兵庫医科大学

「薬理学実習」

薬理学実習は、薬学部生が3年次に行う授業で、これまでに講義で学習した薬を、実際にマウスやラットに投与し、どのようなメカニズムで薬が生体に作用するか自分の目で確認していきます。なお、動物を扱う場合にはヒトと同様に動物に対する倫理を守って実験するよう教育し、危険な薬物を使用する場合には医師が適切に対応し、細心の注意のもとで実習を行っています。

授業内では、「血圧に影響を及ぼす薬物作用の実習」「鎮痛薬の効力試験法の実習」「行動の実習」「腸管の張力に関する薬物作用の実習」「ヒトを用いた計算能力に関する実習(二重盲検法)」といった複数の実習を行います。ここでは、血圧と鎮痛に関する2つの実習についてご紹介します。

「血圧に影響を及ぼす薬物作用の実習」

血圧を上昇させる重要な因子として、交感神経系及びレニン・アンジオテンシン系が挙げられますが、これらの働きを抑制する薬物は、血圧を下げる薬として臨床現場で使用されています。本実習では、ラットに対してアドレナリン、アンジオテンシンⅡ等の薬を投与した時に血圧が上昇したか、またこれらの阻害薬を投与した時にラットの血圧が下降するか、それぞれの薬が生体へ与える影響を調べます。



「鎮痛薬の効力試験法の実習」

動物においては痛みの強さを測定することは極めて難しく、その動物がはたして本当に痛みを感じたのか、あるいは不快感や驚きを感じたにすぎないのか判別することはなかなか困難なことです。本実習では、マウスに痛みが疑われた時に、本当に痛みを感じたのかどうかをできるだけ正確に確認し、同時に痛みを和らげるためにモルヒネ、アスピリン、インドメタシンなどの鎮痛薬を投与し、痛みが和らいだかどうかマウスの様子を観察します。

平成 2 8 年度 学校法人兵庫医科大学 予算

平成28年度予算について、平成28年3月25日に開催された理事会において次のとおり決定されましたのでお知らせします。

1. 平成28年度予算編成にあたって

昨年度、本法人は新教育研究棟に続き、10年後の新病院棟建設を新しい目標として取り組むことが決定し、その目標実現に向けた財務基盤の確立を図ることになりました。

本法人の収支は、平成21年度以降「収入に見合う支出」(財務基盤の改善)に基づく支出予算圧縮施策の実施や平成22・24年度の診療報酬改定により順調に推移してきましたが、平成25年度は前年度比減少に転じ、平成26年度では資産運用増加策の実施や資産処分の繰越し等により、全体としては予算目標を達成しました。

急性医療総合センターの整備やそれに伴う1・8・10号館の改修並びに西宮キャンパス病院情報システムの構築など大型施設・設備投資による維持保守費・減価償却費やエネルギーコストの増加、新規施策の実施等に伴う人員増など固定経費は確実に増加している中、さらに、新教育研究棟の建設をはじめ、未耐震建物の耐震化、PETセンターの購入等、今後の資金需要は継続する傾向にあります。

このような状況のもと、平成28年度予算は限られた財源の中で大学病院の医療機器更新や配管等施設の更新・改修、篠山病院旧病棟の取り壊し、健康医学クリニックのシステム増強等を行いつつも、大学病院、ささやま医療センター及びささやま老人保健施設においてはそれぞれが検討を進めてきた医療収入の増加策を実施、医科大学及び医療大学においては支出の抑制に加え収入面でも昨年度の実績を活かして引き続き国庫補助金の獲得を目指すなどの対策により、学校法人兵庫医科大学の持続的投資を可能とする適正な収支差額を確保しました。

2. 平成28年度事業活動収支予算の概要

大学病院の稼働日数増加や入退院支援センター拡充による病床稼働率の向上、ささやま医療センターの回復期リハビリテーション2から1への単価アップ、ささやま居宅サービスセンターの稼働等により事業活動収入予算については合計52,867百万円で前年度予算比+2,339百万円を計上しています。

また、事業活動支出予算については医療収入増に連動する医療経費増を含め、篠山病院旧病棟の取り壊し費用及びそれに伴う資産処分差額、健康医学クリニックの健診システム改修、情報システムの包括ライセンス契約等により合計51,474百万円で前年度予算比+2,249百万円を計上しています。

その結果、平成28年度基本金組入前当年度収支差額(旧帰属収支差額)は、1,392百万円を確保する予算となっています。

3. 平成28年度施設・設備関係支出について

施設関係支出		(単位：百万円)		設備関係支出		(単位：百万円)	
新教育研究棟新築工事(設計監理費含む)	8,112	兵庫医科大学教育研究設備等	224	アクティブラーニング教育活性化設備	23		
西宮キャンパス施設更新・改修工事等	1,212	兵庫医科大学病院医療設備・機器備品等	1,036	兵庫医科大学病院情報関連設備	34		
アーチェリー防護ネット更新工事	30	急性医療総合センター関連移転跡地利用機器	78	法人部門情報機器・大学会館等厨房機器更新	12		
PETセンター購入	430	ささやま医療センター医療設備・機器備品等	79	ささやま老人保健施設医療設備・機器備品等	26		
2号館耐震化関連	30	兵庫医療大学教育研究設備等	67				
外来部門改修工事等	330						
急性医療総合センター関連移転跡地利用工事等	428						
篠山キャンパス施設更新・改修工事等	218						
神戸キャンパス施設更新・改修工事等	28						
合計	10,819	合計	1,582				

注)百万円未満切り捨て表示のため、合計表示とは必ずしも一致しません。

事業活動収支・資金収支共通科目に加え、上記施設・設備関係支出の合計12,401百万円、借入金等返済支出1,163百万円及びその他の支出(奨学貸付金他)406百万円を合せた資金支出の合計は61,441百万円となります。この結果、平成28年度の資金収支差額は3,733百万円の支出超過予算となっています。

平成 2 8 年度収支予算
事業活動収支予算(旧消費収支予算) (単位：百万円) 資金収支予算 (単位：百万円)

収 入 の 部				
	科 目	平成28年度	平成27年度	増減額
	学生生徒等納付金	7,544	7,573	▲ 29
	手数料	330	327	2
	寄付金	661	692	▲ 31
	経常費等補助金	2,597	2,490	107
	付随事業収入	40,863	38,479	2,383
	雑収入	473	590	▲ 117
教育活動収入計		52,470	50,154	2,316
	受取利息・配当金	251	227	23
	教育活動外収入計	251	227	23
	その他の特別収入	145	145	0
	特別収入計	145	145	0
事業活動収入計		52,867	50,527	2,339

支 出 の 部				
	科 目	平成28年度	平成27年度	増減額
	人件費	23,297	22,958	339
	教育研究経費	3,639	3,527	112
	医療経費	18,448	16,257	2,191
	管理経費	1,853	1,632	220
	減価償却額	3,655	4,120	▲ 465
	徴収不能額等	14	14	0
教育活動支出計		50,908	48,511	2,397
	借入金等利息	64	68	▲ 4
	教育活動外支出計	64	68	▲ 4
	資産処分差額	301	244	56
	特別支出計	301	244	56
予備費		200	400	▲ 200
事業活動支出計		51,474	49,224	2,249
基本金組入前当年度収支差額		1,392	1,302	90
基本金組入額合計		▲ 7,420	▲ 1,765	▲ 5,654
当年度収支差額		▲ 6,027	▲ 462	▲ 5,564

収 入 の 部				
資 金 収 入	科 目	平成28年度	平成27年度	増減額
	学生納付金収入	7,544	7,573	▲ 29
	手数料収入	330	327	2
	寄付金収入	661	692	▲ 31
	補助金収入	2,696	2,589	107
	資産売却収入	500	500	0
	事業収入	40,863	38,479	2,383
	受取利息・配当金	251	227	23
	雑収入	473	590	▲ 117
	借入金等収入	4,118	4,112	5
	その他の収入	269	62	207
	収入の部 合計	57,708	55,155	2,552

支 出 の 部				
資 金 支 出	科 目	平成28年度	平成27年度	増減額
	人件費支出	23,263	22,927	335
	教育研究経費支出	3,639	3,527	112
	医療経費支出	18,448	16,257	2,191
	管理経費支出	1,853	1,632	220
	借入金等利息支出	64	68	▲ 4
	借入金等返済支出	1,163	1,172	▲ 9
	施設関係支出	10,819	7,541	3,278
	設備関係支出	1,582	1,243	339
	資産運用支出	0	0	0
	その他の支出	406	416	▲ 10
	予備費	200	400	▲ 200
支出の部 合計		61,441	55,188	6,253
資金収支差額		▲ 3,733	▲ 32	▲ 3,700

注)百万円未満は切捨て表示のため合計表示とは必ずしも一致しません。

平成 2 8 年度の主な取り組み

平成28年度の事業計画については、第2次中期事業計画に基づき、法人として特に重要な課題6項目に絞り込み取り組んでいきます。

- 兵庫医科大学
- 研究医コースの運営
- 法人(研究推進戦略本部)・兵庫医科大学病院
- 臨床研究中核病院の承認取得に向けた体制整備及び研究実績の獲得
- 兵庫医科大学病院
- 新病院棟建設に向けた病院収支改善
- がん診療の充実
- ささやま医療センター・ささやま老人保健施設・ささやま居宅サービスセンター
- 経営改善に向けた篠山キャンパスの取り組み
- 健康医学クリニック
- 健康医学クリニックの着実な運営に向けた取り組み

上記以外の各部門の計画は、部門計画として部門が主体となって策定し取り組みます。

就任挨拶

▶ 役職就任 <平成28年4月1日就任>



兵庫医科大学
副学長(組織改革、国際交流、広報担当)
三輪 洋人 内科学 消化科 主任教授

この度、組織改革、国際交流、広報担当の副学長を拝命いたしました。その責務の大きさに身の引き締まる思いです。私の担当はいずれもが非常に重要な分野であります。学長がリーダーシップを発揮できるように全力で補佐していくことはもちろん、それに加え、組織改革では本学がより効率的に機能し、またそれが学生や若手医師目線から見ても魅力的なものとなるような改革を目指したいと思ひます。また国際交流を通じて本学のグローバル化をさらに促進し、また広報においては本学の实力と魅力を内外にアピールして、そのブランド化を促進したいと思ひます。まだまだ未熟ではありますが、一生涯懸命職責を果たしていく所存です。よろしくご協力、ご支援のほどお願いいたします。



兵庫医科大学
副学長(大学院、共同研究担当)
藤元 治朗 外科学 肝胆脾外科 主任教授

大学院・共同研究担当の副学長を拝命いたしました。研究は教育とともにまさに大学医学部の根幹であると考えます。研究は大学のプライドであり、質の高い優れた医学論文の発信は本学の更なる発展に必須の事項であります。大学院は言うまでもなく研究の土台であり、年限内の卒業と学位取得・質の高い研究実施、という二律背反の課題を達成するために皆様のご指導を頂きたいと存じております。共同研究は基礎研究でも、また臨床系における多施設前向き臨床研究においても大変重要な役割を担っております。正々堂々、真摯な姿勢で研究に邁進し、本学のこれまでの優れた研究の歴史と伝統をさらに発展させたく存じております。



兵庫医科大学
図書館長
佐野 統 リウマチ・膠原病科 主任教授

この度、廣田省三図書館長の後任として担当させていただきますこと大変光栄に存じます。近年の情報技術の進歩に伴い図書館のあり方も変化し、蔵書を保管したり静かな勉強の場を提供したりするという、従来機能に加え、情報化社会における膨大な情報量の中から効率よく必要な情報を提供する窓口としての役割も求められるようになってきました。今後その傾向は強くなると考えます。時代の流れに合わせ進化していく図書館にしたいと思ひます。同時に、昔ながらの図書館の役割である「知の蓄積」を大切に継承しつつ、大学の責務である「次世代の人材育成」に貢献していく所存でございます。新教育研究棟にできる図書館は私の留学したNHの図書館のような世界に誇れる場にしたいと思ひます。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。



兵庫医科大学
教務部長
辻村 亨 病理学 分子病理部門 主任教授

この度、教務部長の任を拝命いたしました。健康とは、単に病気でないということではなく、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることと考えられています。医師は、病気を治す職人に留まるのではなく、幅広く全人的医療を行い、人を健康にするように務める必要があります。「小医は病を癒せず、中医は病を癒して人を治せず、大医は病を癒し、人を治す」言葉どおり、人を治す医師の育成が極めて重要と考えます。私は、教務部長として、建学の精神に則り社会に貢献する良医育成のため、知識・技術の習得、論理的思考・科学的判断力の涵養だけでなく、豊かな人間性が育むように、きめ細やかな教育を実践していく所存ですので、よろしくご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



兵庫医科大学
入試センター長
八木 秀司 解剖学 細胞生物部門 主任教授

この度、本学学長に就任されました野口光一先生の後任として、入試センター長を拝命いたしました。入試センターは、入試制度の中長期的・総合的な企画立案、及び、入試広報活動の二つの責務を担っています。広報活動では、発展し続けている本学の魅力を伝え、多くの方々に本学で学びたいという気持ちを喚起したいと考えています。社会情勢の変化に対応出来るよう入試制度の改善を継続し、兵庫医科大学の建学の精神に則った医師を育成するという本学の目標を達成するために、将来の兵庫医科大学及び日本の医療を支える有為の人材を引き続き受け入れることが出来るよう全力を傾注いたしますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



兵庫医療大学
学生部長
竹田 千佐子 看護学部 教授

平成28年度より、学生部長の任を拝命致しました。学生委員会は、学生生活における危機管理をも含む大学生生活全般に係る事項に対する指導・助言を行う部署であると認識しています。また、指導・助言のみでなく学生の主体性・責任感をも涵養する役割を担っていると考えます。幸いにも本学では、新入生をあたたくサポートすべく学生アドバイザー制度等を導入し、「学生中心の大学」を目指した活動が始まっています。本学の教育目標に基づいた多くのことを修得するとともに、信頼される医療人として、社会の中で生きるための基本的能力涵養を育み、大学生生活がより快適で実り多きものとなるよう学生部長として学生を支援していきたいと思っております。



兵庫医療大学
キャリアデザインセンター長
青木 俊二 薬学部 教授

4月からキャリアデザインセンター長を拝命いたしました。言うまでもなく、卒業生の社会での活躍は、学生本人の充実した人生のみならず、大学の今後の発展にも大きく寄与するところです。学生が社会への第一歩をスムーズに踏み出せるよう、そして社会で“Only One”の存在として輝けるよう、社会人スキル向上を含めた学生達の就職活動を微力ではありますがサポートしていきたいと考えております。また、社会に巣立った卒業生達が、いつでも帰ってきて後輩と手を携えられる母校の環境を整えるために、同窓会活動支援にも力を入れていく所存です。今後とも、かわらぬご支援と、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

▶ 主任教授就任



兵庫医科大学 内科学 糖尿病・内分泌・代謝科 主任教授
小山 英則 <平成28年2月1日就任>

平成28年度2月1日付けで、難波光義病院長の後任として糖尿病・内分泌・代謝科の主任教授を拝命致しました。私は昭和62年に大阪市立大学を卒業し、Washington州立大学研究医、大阪市立大学大学院医学研究科講師を経て、平成22年10月に兵庫医科大学に赴任いたしました。赴任後主に、メタボリックシンドロームや動脈硬化の視点から、糖尿病・内分泌・代謝疾患の臨床・研究に力を注いでいます。教室の優秀なスタッフの力を最大限伸ばしながら、1型糖尿病、妊娠、急性合併症、下垂体、副腎疾患、遺伝性疾患など高度に専門的な疾患領域から、2型糖尿病、甲状腺疾患、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病など一般内科領域まで、幅広く教育・研究・診療に尽力していく所存です。皆様方のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



兵庫医科大学 眼科学 主任教授
五味 文 <平成28年4月1日就任>

この度、眼科学教室の主任教授を拝命致しました。私は平成元年に大阪大学を卒業し、眼科に入局。研修後大阪労災病院に赴任し網膜硝子体疾患の奥深さに魅せられ、大学院でも網膜の基礎研究を行いました。大阪大学での助手・講師時代には、網膜の中でも視力と直結する黄斑の診療と研究に従事し、住友病院に部長として赴任してからは、専門的な診療以外に、スタッフ教育や病診連携などにも力を注いできました。兵庫医大では、これまでの経験を生かし、診療・教育・研究のいずれの分野にも力を注いでいきたいと思ひます。目に限らず、広く人体の緻密さ、チーム医療の楽しさなども伝えていく所存ですので、よろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。

▶ 教授就任



兵庫医科大学 整形外科 教授
麩谷 博之

略歴
昭和58年3月
兵庫医科大学医学部 卒業
昭和58年6月
兵庫医科大学整形外科講座 臨床研修医
平成元年3月
兵庫医科大学大学院医学科博士課程修了
平成元年4月
田中病院 整形外科 医長

平成5年7月
米国クリーブランドクリニックpostdoctoral fellow
平成8年7月
兵庫医科大学整形外科講座 助手
平成15年1月
兵庫医科大学整形外科講座 講師
平成18年5月
兵庫医科大学整形外科講座 助教授



兵庫医科大学 外科学 小児外科 教授
大植 孝治

略歴
昭和60年3月
大阪大学医学部医学科 卒業
平成5年3月
大阪大学医学部大学院 博士課程修了
平成9年4月
アイルランドOur Lady's Hospital for Sick Children 留学
平成11年4月
大阪大学 医学部 小児外科 助手

平成12年6月
大阪府立母子保健総合医療センター 小児外科医長
平成16年7月
自治医科大学 小児外科 講師
平成18年10月
大阪大学大学院医学系研究科 小児成育外科 助手〜准教授
平成26年10月
兵庫医科大学 医学部 小児外科 准教授

理事・監事・評議員の異動

次の通り理事・監事・評議員の異動がありました。

理事					
新任 (4月1日)	兵庫医科大学長	野口 光一	辞任	兵庫医科大学教授・入試センター長	野口 光一
退任	兵庫医科大学長	中西 憲司	新任 (4月1日)	兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院副院長	阪上 雅史
新任 (4月1日)	兵庫医療大学教授・副学長	前田 初男	辞任	兵庫医科大学教授・副学長	三村 治
退任	兵庫医療大学教授・副学長・図書館長	末廣 謙	新任 (4月1日)	常務理事	西岡 清
新任 (4月1日)	兵庫医科大学教授・副学長	三輪 洋人	辞任	常務理事	坂元 譲次

監事		
辞任	非常勤監事	西岡 清

評議員					
新任 (4月1日)	兵庫医科大学長	野口 光一	新任 (4月1日)	兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院副院長	阪上 雅史
退任	兵庫医科大学長	中西 憲司	辞任	兵庫医科大学教授・副学長	三村 治
新任 (4月1日)	兵庫県健康福祉部 健康局医務課長	味木 和喜子	新任 (4月1日)	兵庫医科大学教授・図書館長	佐野 統
退任	兵庫県健康福祉部 健康局医務課長	松原 昭雄	退任	兵庫医科大学教授・図書館長	廣田 省三
新任 (4月1日)	兵庫医療大学教授・看護学部長	網島 ひづる	新任 (4月1日)	兵庫医科大学教授・教務部長	辻村 亨
退任	兵庫医療大学教授・副学長・図書館長	末廣 謙	辞任	兵庫医科大学教授・教務部長	若林 一郎
新任 (4月1日)	兵庫医科大学教授・副学長	三輪 洋人	新任 (4月1日)	常務理事	西岡 清
退任	兵庫医科大学教授・入試センター長	野口 光一	辞任	常務理事	坂元 譲次

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

	助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
兵庫医科大学	(公財)上原記念生命科学財団	エンドトキシンによるIgE非依存型アレルギー応答の研究	松下 一史	2,000
	(公財)がん研究振興財団	悪性胸膜中皮腫術後患者の日常生活における活動量が維持期の身体運動機能および健康関連QOLにどのように影響を及ぼすかについての検討	田中 隆史	500
	(一社)JA共済総合研究所	活性酸素が外傷後の瘢痕拘縮に与える影響についての検討	藤原 敏宏	1,000
	(公財)大阪ガスグループ福祉財団	口腔への内服薬残留予防を目指した基礎的調査と介入試験	長谷川 陽子	700
	(公財)大阪ガスグループ福祉財団	高齢悪性胸膜中皮腫患者における外科手術前後の身体運動機能と健康関連QOLの変化の関係についての検討	田中 隆史	700
	(一社)日本超音波医学会	Shear wave伝搬速度に影響を与える因子の定量的検討を基にした肝疾患診断法の研究	飯島 尋子	1,700
	(公財)ソルト・サイエンス研究財団	高血圧性臓器障害における鉄取り込み受容体の関与と治療への応用	内藤 由朗	1,000
兵庫医療大学	大阪ガスグループ福祉財団	退院後の身体活動量増加支援が高齢フレイル患者に及ぼす影響	森沢 知之	700
	大阪ガスグループ福祉財団	災害時の避難所生活における高齢者・要介護者の摂食嚥下・栄養支援に関する調査研究	野崎 園子	700
	公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団	脳損傷者の表情認知と表出の特徴から他者との良好な関係づくりに向けた方略を考える	佐野 恭子	300
	一般社団法人 古川医療福祉設備振興財団	変形性膝関節症に対する在宅リハビリテーションシステムの開発	塚越 果	1,300

皆様からのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告

H21. 7. 1～H28.3.31

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	300	64,455,000	1,278	94,410,498	1,578	158,865,498
入 金	300	64,455,000	1,272	94,205,498	1,572	158,660,498

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H27. 12.16～H28.3.31

〔緑樹会・後援会・その他個人〕(116名)

〔企業等法人〕(8法人)

●ご芳名・金額記載 28名

●ご芳名のみ 38名

●ご芳名・金額記載 3法人

岡谷 文子 様 10,000 円
片山 正巳 様 50,000 円
久我 一郎 様 50,000 円
日下 大器 様 500,000 円
日下 淑子 様 250,000 円
兒玉 善子 様 10,000 円
兒玉 喜徳 様 50,000 円
後藤 俊文 様 50,000 円
後藤 扶美江 様 10,000 円
齋藤 純一 様 50,000 円
田中 直美 様 10,000 円
土井 進 様 5,000 円
土井畑 公昭 様 10,000 円
土井畑 雅代 様 50,000 円
道満 隆 様 50,000 円
富尾 信彦 様 15,000 円
中井 久夫 様 100,000 円
中野 千年 様 50,000 円
並 富江 様 10,000 円
並 昇 様 50,000 円
萩森 晃 様 50,000 円
萩森 シャンタル 様 10,000 円
福田 八郎 様 50,000 円
福田 晴美 様 10,000 円
松井 なりみ 様 250,000 円
森 美樹 様 50,000 円
吉田 武 様 50,000 円
吉田 俊子 様 10,000 円

猪崎 俊一 様
今中 久美子 様
今中 利昭 様
岩城 昭代 様
大滝 育芳 様
岡 哲夫 様
岡本 洋子 様
岡本 茂登 様
岸上 涼子 様
熊谷 裕美 様
熊谷 政敏 様
倉橋 裕 様
小原 修 様
駒澤 勲 様
瀬尾 多嘉子 様
瀬尾 宏郎 様
大黒 幸子 様
大黒 貴 様
高尾 和良 様

高尾 素子 様
田中 恵美子 様
寺田 直子 様
戸田 喜美 様
土橋 昌子 様
中澤 正孝 様
中野 武士 様
西原 力 様
平山 重男 様
松本 圭子 様
松本 ふくゑ 様
水野 淑子 様
村上 岩巳 様
村上 文江 様
安村 勝枝 様
山本 悦也 様
山本 純子 様
山本 泰雄 様
山本 洋子 様

小山株式会社 様 300,000 円
株式会社白洋舎 様 300,000 円
八洲薬品株式会社 様 50,000 円

●ご芳名のみ 3法人

鹿島建設株式会社関西支店 様
株式会社共英メソナ 様
武庫川医療サー ビス株式会社 様

(匿名 2法人)

〔役員・教職員等〕(2名)

●ご芳名のみ 1名

山田 明美 様

(匿名 1名)

(匿名 50名)

兵庫医科大学新教育研究棟建設事業募金

～開学40周年記念事業募金～

H24.7.1～H28.3.31

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	196	1,154,815,000	535	310,212,140	731	1,465,027,140
入 金	196	1,032,895,000	534	277,953,040	730	1,310,848,040

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

50音順

H27.12.16～H28.3.31

〔企業等法人〕(4法人)

〔役員・教職員等〕(20名)

〔緑樹会・後援会・その他個人〕(3名)

●ご芳名・金額記載 2法人

●ご芳名・金額記載 4名

●ご芳名のみ 4名

●ご芳名・金額記載 1名

株式会社マーク 様 150,000円
㈱MAY・MANAGEMENT 様 1,000,000円

合田 亜希子 様 100,000 円
才田 智恵 様 30,000 円
三村 治 様 100,000 円
山崎 せつ子 様 500,000 円

田中 昭二 様
中村 憲治 様
中村 純子 様
松山 知弘 様

藤末 洋 様 100,000 円

(匿名 2件)

●ご芳名のみ 2法人

パスコ株式会社 様

(匿名1件)

(匿名 12名)



報道機関への出演・掲載(一部抜粋)

本学の取り組みや医療関連業務、医師等に対する取材、報道機関への出演・掲載情報をお知らせします。

新聞・雑誌等 出演情報 1月から3月

掲載媒体	掲載日	関連者	概要
兵庫保険医新聞	1月5日	兵庫医科大学病院 難波光義 病院長・ 消化管内科 三輪洋人 主任 教授	「地域密着型の大学病院として」という特集にて、「2人主治医制」や「内視鏡センターの拡充」などについて、兵庫医科大学病院 難波光義病院長と消化管内科の三輪洋人主任教授がコメントした内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	1月7日	ささやま医療センター リハビリテーション科 内山侑紀 助教	ささやま医療センターに導入したロボット「歩行練習アシスト」に関する記事にて、ロボットによるリハビリの効果についてコメントした記事が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	1月9日	兵庫医科大学病院 心臓血管外科 宮本裕治 主任教授	「ひょうごの医療」コーナーにて、植え込み型補助人工心臓についてコメントした内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	1月10日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(脳卒中)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2014年)が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	1月14日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治 教授	ノロウイルスが原因で起こる脱水症についてコメントした内容が掲載されました。
丹波新聞・神戸新聞(朝刊)	1月17日 ・21日	訪問看護ステーション (篠山キャンパス)	学校法人 兵庫医科大学が平成28年1月に設置した「訪問看護ステーション」について掲載されました。
産経新聞(朝刊)	1月18日	兵庫医療大学 看護学部 在学生	阪神大震災の特集記事にて、震災2日後に生まれ現在看護師をめざす兵庫医療大学の看護学部生に関する記事が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	1月21日	兵庫医科大学病院 眼科 石川裕人 講師	石川講師のグループが行った、目の難病で見える範囲が急激に狭まる「レーベル病」の、治療の成果に関する記事が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	1月21日	兵庫医科大学病院 整形外科 橋俊哉 講師	頸椎後縦靭帯骨化症に関する記事にて、症状や治療法などについて解説した内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	1月23日	兵庫医科大学病院 眼科 石川裕人 講師	「ひょうごの医療」コーナーにて、多焦点眼内レンズについて解説した内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	1月25日	兵庫医科大学病院 循環器内科 澁谷真彦 助教	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、澁谷助教が監修を行った「ずっといきいき! “若さ”をキープ vol.2血管の若さを保つ」と題された記事が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)・毎日新聞(朝刊)・朝日新聞(朝刊)ほか	1月29日	兵庫医科大学・ 兵庫医療大学	兵庫医科大学と兵庫医療大学の学長就任に関する記事が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	1月31日	兵庫医科大学	学生が主体的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」に関する記事にて、兵庫医科大学が行っている「チーム基盤型学習」の様子について掲載されました。
丹波新聞	2月4日	ささやま医療センター 地域総合医療学 井上淳一 講師	原子力発電所の事故に備えた、甲状腺被ばくを防ぐ安定ヨウ素剤の事前配布に関する記事にて、服薬の注意事項について説明した内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	2月7日	兵庫医科大学病院 下部消化管外科 富田尚裕 主任教授	大腸がんの早期診断についてコメントした内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	2月7日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(不妊治療)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2014年)が掲載されました。
朝日新聞(朝刊)	2月9日	兵庫医科大学病院 消化管科 三輪洋人 主任教授	胃もたれなどの症状を示す「機能性ディスペプシア」についてコメントした内容が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	2月16日	兵庫医療大学 薬学部 西山信好 教授	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにて、『健康食品で不健康に!?』と題し、健康食品の安全性や効果などについて寄稿した内容が掲載されました。
日本経済新聞(朝刊)・共同通信・読売新聞(朝刊)ほか	2月16日 ・22日	兵庫医科大学 生物学 菅原文昭 講師	「脊椎動物の脳の基本的な構造」について、菅原講師と理化学研究所が共同で解析した内容に関する記事が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	2月23日	兵庫医療大学 薬学部 岩崎剛 教授	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにて、『関節リウマチ』と題し、より安価な薬の開発について、寄稿した内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	2月25日	兵庫医科大学病院 整形外科 柏薫里 助教	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、柏助教が監修を行った「ずっといきいき! “若さ”をキープ vol.3関節の若さを保つ」と題された記事が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	3月1日	兵庫医療大学 薬学部 上田晴康 教授	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにて、『サイエンスの使命』と題し、情報の正確さを見極めるための科学の役割などについて寄稿した内容が掲載されました。
朝日新聞(朝刊)・毎日新聞(朝刊)	3月1日 ・2日	訪問介護ステーション (篠山キャンパス)	兵庫医科大学 篠山キャンパスに開設した「訪問介護ステーション」についての記事が掲載されました。

5 月

～21日	兵庫医療大学	ナレッジキャピタル“Active Lab”内「大学都市KOBÉ！発信プロジェクト」ブース展示
18日	兵庫医療大学	大学行事実行委員会主催スポーツ大会
21日	兵庫医科大学病院	看護の日記念行事「一日まちの保健室」
27日	ささやま居宅サービスセンター	第1回 介護支援専門員(ケアマネージャー)勉強会

6 月

1日	ささやま医療センター	ささやま医療センター開院記念お笑い会(仮)
2日	兵庫医科大学	研究科教授会学術賞表彰式
4・5日	兵庫医科大学	幹部教員FDプログラム
5日	兵庫医療大学	兵庫医療大学 薬学部×兵庫医科大学病院 薬剤部 合同イベント「薬剤師への道」
10日	兵庫医科大学	医療人育成センター認定看護師教育課程手術看護分野入学試験
12日	兵庫医療大学	看護学部イベント「看護職への道」
15日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「腸内細菌と健康」
18日	兵庫医科大学	Advanced OSCE (6年次)
18・19日	兵庫医療大学	リーダーズキャンプ
24日	兵庫医療大学	高校教員対象入試説明会

7月

2日	兵庫医科大学	心肺蘇生法実習(1年次)
4～8日	兵庫医科大学	早期臨床体験実習(1年次)
11日	兵庫医療大学	薬学部対象 仕事研究セミナー
14日	ささやま医療センター	第9回篠山地域連携勉強会
22日	兵庫医科大学	トリアージ訓練(4年次)
26日	兵庫医科大学病院	看護の日記念行事「ふれあい看護体験」

掲載媒体	掲載日	関連者	概要
神戸新聞(朝刊)	3月5日	兵庫医科大学病院 リハビリテーション部 道免和久 主任教授	「ひょうごの医療」コーナーにて、脳卒中のリハビリテーションについて解説した内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	3月6日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(C型肝炎)において、兵庫医科大学病院の治療実績(2014年)が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	3月8日	兵庫医療大学 薬学部 前田拓也 准教授	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにて、「消毒剤をうまく使おう」と題し、感染症対策について寄稿した内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	3月12日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部森沢 知之 講師	「ひょうごの医療」コーナーにて、心臓リハビリについて解説した内容が掲載されました。
毎日新聞(朝刊)	3月15日	兵庫医療大学 薬学部 甲谷繁 准教授	「キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座」コーナーにて、『家電に活用・薬も可能性』と題し、光触媒と薬との結びつきについて寄稿した内容が掲載されました。
産経新聞(朝刊)	3月16日	兵庫医療大学 看護学部 鈴井江三子 教授	妊婦の超音波診断のメリット・デメリットについて解説した内容が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	3月23日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治 教授	子育て支援に関する記事にて、育児疲れを癒す機会についてコメントした内容が掲載されました。
神戸新聞(朝刊)	3月25日	兵庫医科大学病院 神経内科 武田正中 教授	てんかんの持病を持つ患者さんの車の運転の危険性についてコメントした内容が掲載されました。
丹波新聞	3月27日	兵庫医科大学病院 総合診療科 新村健 主任教授	兵庫医科大学 ささやま医療センターを拠点に行う「フレイル」に関する研究についてコメントした内容が掲載されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	3月28日	兵庫医科大学病院 眼科 三村治 主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、三村主任教授が監修を行った「ずっといきいき！ “若さ”をキープ vol.4目の若さを保つ」と題された記事が掲載されました。
読売新聞(朝刊)	3月31日	兵庫医科大学	兵庫医科大学 西宮キャンパスに平成29年11月に完成予定の「新教育研究棟(仮)」に関する内容が掲載されました。

テレビ・ラジオ出演情報 1月から3月

放送局	番組	放送日	関連者	概要
朝日放送	キャスト	1月7日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治 教授	「暖冬でどうなるインフルエンザの猛威？」と題した特集にて、年末年始の患者数や今後のインフルエンザ流行が予測される時期などについて解説した内容が放送されました。
読売テレビ	かんさい情報ネットten	1月7日	兵庫医科大学病院 小児科 竹島泰弘 主任教授	「子どもの難病」に関する特集にて、脊髄性筋萎縮症(SMA)の治験について解説した内容が放送されました。
関西テレビ	カンテレ通信	1月24日	兵庫医療大学 手話サークル	兵庫医科大学の手話サークル「かめさん」が出場した「ソーシャルパフォーマンス5 手話エンターテインメント ～With Festa 15～」の様子が放送されました。
日本テレビ	NEWS ZERO	1月28日	兵庫医科大学病院 脳神経外科 吉村紳一 主任教授	脱水による脳梗塞の危険性について、解説した内容が放送されました。
NHK総合	ためしてガッテン	2月3日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 玉木彰 教授	「あなたのせきをチェック！止め方＆見分け方SP」と題した特集にて、たんを出しやすくする新しい方法“パフィンク”について解説した内容が放送されました。
テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	2月15日	兵庫医科大学病院 脳神経外科 吉村紳一 主任教授	「脳卒中」を未然に防ぐ最新治療と題した特集にて、吉村主任教授の手術の様子や、解説した内容が放送されました。
NHK	ニュース	2月16日	兵庫医科大学 生物学 菅原文昭 講師	「脊椎動物の脳の基本的な構造」について、菅原講師と理化学研究所が共同で解析した内容が放送されました。
NHK	ニュースKOBЕ発	3月1日	訪問介護ステーション (篠山キャンパス)	兵庫医科大学 篠山キャンパスに開設した「訪問介護ステーション」についての内容が放送されました。
読売テレビ	ウェークアップ ぶらす	3月5日	兵庫医科大学病院 脳神経外科 吉村紳一 主任教授	脳梗塞の新治療と題した特集にて、都市と地方との治療の格差などについて解説した内容が放送されました。
朝日放送	たけしの健康エンターテインメント！みんなの家庭の医学	3月8日	兵庫医科大学病院 脳神経外科 吉村紳一 主任教授	脳動脈瘤のカテーテル治療に関する特集にて、吉村主任教授が行った、「フローダイバーター」を使用した手術の様子が放送されました。
朝日放送	キャスト	3月15日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治 教授	「腸内フローラ」について解説した内容が放送されました。
毎日放送	ちちんぷいぷい	3月30日	兵庫医科大学病院 小児科 服部益治 教授	「結核」に関する特集にて、早期受診の重要性について解説した内容が放送されました。

上記は一部抜粋情報です。すべての出演・掲載情報は
ホームページをご覧ください！

兵庫医大

広報 テレビ放送

検 査

兵庫医大

廣告 新聞揭載

検索

事業主(壳主)

清水建設グループ
清水総

販売提携(代理)



住友不動産販売

ホームページ <http://vc48.jp>

神戸山手48

お問い合わせは「ヴィークコート神戸山本通」レジデンスサロン

 0120-110-366 ○営業時間／午前10時～午後6時
○定休日／水曜日（祝日は除く）

①全体概要②名称 ヴァークコート神戸山本通③所在地 神戸市中央区山本通5丁目6-1(地番)④交通 神戸市営地下鉄西神・山手線「県庁前」駅徒歩7分、JR神戸線「元町」駅徒歩12分、阪神本線「元町」駅徒歩12分、阪急・神戸高速線「花隈」駅徒歩11分⑤地域・地型 第2種住居地域、準防火地域、第5種高度地区⑥地目 宅地⑦建ぺい率 70%⑧容積率 200%⑨敷地面積 1,898.18㎡ 建築面積 905.21㎡ 建物延床面積 4239.38㎡ 構造・規模 鉄筋コンクリート造、地上7階建⑩総戸数 48戸⑪駐車場 総戸数48戸に対して全22台/平面式1台・機械式21台⑫使用料(月額) 14,000円≒28,000円※1⑬自転車前場 2段式76台+平面式6台⑭使用料(月額) 100円≒500円⑮ミニバイク前場 総戸数48戸に対して全4台⑯使用料(月額) 1,500円※1 ⑰希望者多数の場合、抽選により利用者を決定いたします。⑱分譲後の権利形態 敷地及び建物共用部分には区分所有者全員による専有面積持分割合により所有者の共有、建物所有部分には区分所有⑱分譲後の管理形態 区分所有者全員による管理組合を結成し管理会社に委託⑳開発許可番号 許可第6547号(平成26年11月28日付)〔変更〕許可第1227号(平成27年1月21日付)㉑建築確認番号 第H26確認建規CAS01623号(平成27年1月15日)㉒建築物竣工予定 平成28年9月末㉓入居予定 平成28年10月末㉔建物主(売主) 清水総合開発株式会社、国土交通大臣免許(3)第6166号、(一社)不動産協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟㉕41-0051-0051 大阪市中央区本町3丁目3番9号(本町寄尾ビル)TEL06(6258)1157 販売提携(代理) 住友不動産販売株式会社、国土交通大臣免許(正)第1077号、(一社)不動産協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、(一社)不動産流通経営協会会員 ㉖530-0005 大阪市北区中之島3丁目2番18号(住友中之島ビル6階)㉗設計・監理 株式会社IAO竹田設計㉘施工 大豊建設株式会社/管理会社 株式会社東急コミュニティー㉙第4期予告分譲概要㉚予定販売戸数 2戸㉛予定販売価格(税込) 4,200万円(前)-6,200万円(間取り 3LDK)㉜住居所有面積 70.76㎡-84.15㎡/バルコニー面積 6.06㎡/ポーチ面積 3.53㎡㉝アルファ面積 3.70㎡/管理費(月額) 8,600円/0.200円/修繕積立金(月額) 4,250円/5,050円㉞一括修繕積立金(引渡時一括) 354,000円/421,000円㉟管理準備金(引渡時一括) 25,000円 ㊱上記内容は、平成28年3月20日現在のものです。販売価格・販売戸数は未定です。確定情報は下記の物件ホームページにて確認ください。

※掲載の外観完成予想図は設計図を基に描き起こしたもので、官公庁の指導、施工上の都合等により建物の形状・色調などに変更が生じる場合があります。また、周辺の建物・電柱・標識等は省略しており、採用等実際とは多少異なります。予めご了承ください。色合い等は、実際とは異なります。また、採用素材は施工上の都合により、変更になる場合がございます。

預告
廣告

※本広告を行い取引を開始するまでは契約または予約の申込みはできません。また、申込みの順位の確保に関する措置も講じません。予めご了承ください。販売予定時期／平成28年4月下旬

84㎡邸宅モデルルーム公開中

三宮～1駅1分 圏

都心

四方道路の角地

豊かな開放感と優れた独立性

全邸、南東&南西向き

陽光あふれるレジデンス

事業主(壳主)

販売提携(代理)

ホームページ <http://vc48.jp>

お問い合わせは「ヴィークコート神戸山本通」レジデンスサロン

 0120-110-366 ○営業時間／午前10時～午後6時
○定休日／水曜日（祝日は除く）

学校法人兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解



兵庫医科大学

兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL:0798-45-6111(代)

<http://www.hyo-med.ac.jp/> (大学)

<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> (病院)

<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/> (法人)



兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6

TEL:078-304-3000(代)

<http://www.huhs.ac.jp/>



兵庫医科大学

ささやま医療センター

〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡5番地

TEL:079-552-1181(代)

<http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>

学校法人兵庫医科大学広報

発行月／2016年4月号・VOL.234

発行日／2016年4月25日

発行／学校法人兵庫医科大学 経営企画室 広報課